

あけまして おめでとうございます



地方自治体の仕事は、暮らし・福祉が第一です。
ところが、区は、国際アート・カルチャー都市を
口実に池袋駅周辺の再開発、電気バスの運行な
ど、来街者を呼び込むためのまちづくりを進めて
います。
日本共産党区議団は昨年12月3日、区長に対
し2020年度予算要望申入れ(531項目)を行いま
した。
日本共産党は、区民のみなさんと力を合わせ
て、大型開発優先ではなく、防災対策の拡充、学
校給食費の無償化、国保料の引き下げ、公営住
宅の増設など
に全力を尽くし
ます。



19年第4回定例区議会

19年第4回定例区議会は、11月19日から12月9日
の日程で行われました。区議団から渡辺くみ子議員、
清水みちこ議員が一般質問を行いました(裏面参照)。

■池袋保健所跡地売却の補正予算に反対 (総務委員会)

豊島区は池袋保健所跡地をアニメイトに36億円で売却しました。
当初予算との差額6億円を歳入とすることを含む補正予算が総務
委員会で審査されました。
儀武さとの議員は「貴重な区民の財産である池袋保健所跡地を
売却すべきではない」と補正予算に反対しました。

■「羽田空港の増便に伴う新飛行ルート計画の撤回を 求め、豊島区議会から意見書提出を求める陳情」は 不採択に(都市整備委員会)

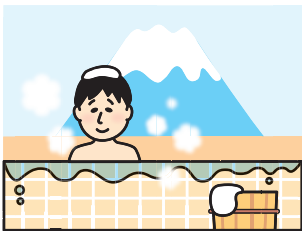
小林ひろみ議員は、豊島区上空を通過する飛行ルートを住民合意の
ないまま進める国の姿勢を批判し、さらに乗客をのせた飛行機を「実
機飛行による確認」として飛ばそうとしている態度も許せないと陳情の
採択を求めました。立憲としま、元気の会、あたらしい豊島も採択を主
張。ところが、自民党、公明党、都民ファ・民主が不採択にしました。

■「失語症向け意思疎通支援者の派遣についての陳情」 全会一致で採択(区民厚生委員会)

この陳情は、区による失語症意思疎通支援者の派遣を2020年度
から実施することなどを求め、提出されたものです。
審査をした区民厚生委員会で、渡辺くみ子議員は「区は障害者総
合支援法の意味疎通支援を具体化すべき。失語症の支援は必要
だ」と採択を主張しました。全会一致で採択となりました。

■「長崎・南長崎地域に銭湯の確保を求める陳情」は 継続審査に(子ども文教委員会)

清水みちこ議員は「身近な銭湯が
なくなり遠くへ行っている区民が
いる。困っている区民の要望に応え手立
てをとるべき」と採択を主張しました。
しかし、自民党、公明党、都民ファ・
民主等が継続審査にしました。



意見のわかれた主な議案等	会派										
	区自 民 議 党 豊 島 議 団	公 明 党	都 民 の 会 ・ 民 主 主 義	日 本 共 産 党	立 憲 と し ま	無 所 属 の 会	無 所 属 元 氣 の 会	豊 島 ネ ット	し き し ま 会	豊 あ た ら し い 会	結 果
令和元年度豊島区一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
長崎・南長崎地域に銭湯の確保を求める陳情	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に反対	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査 に賛成	継続審査
羽田空港の増便に伴う新飛行ルート計画の撤回を求め、豊島区議会 から意見書提出を求める陳情	不採択に 賛成	不採択に 賛成	不採択に 賛成	不採択に 反対	不採択に 反対	不採択に 反対	不採択に 反対	不採択に 反対	不採択に 賛成	不採択に 反対	不採択

○は可決に賛成 ×は可決に反対



渡辺 くみ子
区議団団長
区議団副幹事長
区民厚生委員
施設・用地副委員長
☎3971-1950



儀武 さとる
区議団幹事長
議会運営副委員長
総務委員
防災・震災委員
☎3918-9458



小林 ひろみ
都市整備委員
副都心副委員長
行財政委員
☎3955-8244



清水 みちこ
子ども文教委員
環境・清掃副委員長
☎6912-8679

大型開発ではなく、 区民を大切にする区政を

渡辺くみ子議員が一般質問



2020年度予算編成に向けての 区長の基本姿勢について

渡辺議員は「『社会保障のため』『財政再建のため』として消費税10%増税が強行されたが、社会保障は次々切り下げられ、区民生活は格差と貧困が広がり、街の商店は賑わいも売り上げも減らしている。区長は今でも、10%増税は正しかったと評価しているのか」と質しました。区長は「『増税は正しかった』との判断に間違いはない」との答弁を繰り返しました。さらに渡辺議員は「手数料や国保料、教育の私費負担等の引き上げはすべきでない」と追及。区長は「『受益者負担』の観点からご負担を頂いている。引き上げしないと約束できない」と冷たい答弁に終始しました。

区民生活を改善するために来年度 予算にもりこむべき課題について

社会保障制度の根幹である生活保護基準額の引き下げは、他の福祉施策にも大きな影響を与えます。渡辺議員は「弱者切り捨ての安倍政権下で、区民の命を守る責務がある区長として、生活保護基準額の引き下げに反対すべき」と追及、しかし区長は「反対する考えは無い」と拒否。

次に高齢者支援策について、渡辺議員は「区が実施したアンケートでは『介護保険料が高すぎる』の声が多くある」と保険料の引き下げを求めました。しかし区は「保険料は中長期的に安定した介護保険の運営を図る観点で算定する」と答弁し保険料引き下げ

は示しませんでした。さらに低所得者で一人暮らし高齢者が、一時的に介護が必要になった時に派遣できる区のホームヘルパー制度の創設を求めましたが、区は「介護保険制度があり、区独自ヘルパー派遣は経費負担、公平性の観点から難しい」とまたもや拒否。

渡辺議員は高齢者支援策の最後に、旧朝日中跡地への特別養護老人ホーム建設について質問。区は「本年度末には事業者公募に向けた施設概要等の方針を固める」と表明しました。

まちづくりについて

①東京建物K Kが、高田1丁目のオリジン電気本社工場跡地に15階建455戸のマンションの建設計画を進めています。近隣住民からは、神田川周辺の景観、日照、風害、子そだてインフラ（保育園等）等の対策を求める声が上がっています。渡辺議員は「公園や公共施設の建設など地域還元施設、区民の住環境への配慮等に区が取り組むべき」と質し、更に「もっと区が関わるべき」と再質問しました。区長は「どういう形で地域に貢献できるか、十分に考える。精一杯努力する」と答弁しました。

②池袋保健所は2019年10月に17億円かけて「仮移転」しました。区は、今後南池袋二丁目C地区の再開発ビルに池袋保健所をつくるとしています。

渡辺議員は「新保健所建設については予算も施設概要も不明。区民無視の新保健所建設は見直すべき」と追及。しかし区長は「建設計画の見直しを行う予定は無い」と答弁しました。

子どもから高齢者まで、 一人ひとりに寄り添う区政に転換を

清水みちこ議員が一般質問



子育て支援について

義務教育は無償が原則です。

しかし給食費や修学旅行費など保護者の経済的な負担は、19年10月の消費増税によって、ますます重くなっています。

清水議員は、まず就学援助制度の拡充と、制度を利用していない家庭への給食費の一律補助、修学旅行費の補助等を求めましたが、区は拒否しました。

特に中学校の修学旅行費は、約6.8万円(2018年度平均)と高額であるにもかかわらず全額保護者負担です。清水議員は「保護者負担が重いとの認識があるのか」「補助の必要性は感じていないのか」と迫りましたが、区は「経済的に困難な家庭に対しては就学援助制度により援助をしている」と真正面から答えませんでした。

そこで清水議員は再質問に立ち、「同じ学校行事の移動教室、林間学校には交通費は全額、宿泊費は半額の補助がある」「保護者の負担軽減をせよ」と修学旅行費への補助をさらに強く求めました。しかし区は冷たく拒否する態度を変えようとしませんでした。

住宅対策について

清水議員はこれまで区民要望の高い公営住宅の増設、家賃補助制度の拡充などを求めてきました。

特に高齢者など住宅困窮者の住まいの確保は待ったなしです。

清水議員は、安心すまい提供事業（取壊しによる立退きなど、緊急を要する高齢者等に提供するための借上げ住宅）について、「住み慣れた地域に暮らし続けられるようニーズに応じて、借上げ戸数、高齢者のための1階の物件や世帯向け物件、区内で地域のバランス良く増やすべき」と求めました。

しかし区は「世帯用は空き室がない状況だが、全体としては空きが生じている」として、戸数を増やすことは拒否しました。

羽田空港新ルートについて

国は区民の声に耳を傾けず、羽田空港新ルートを2020年3月29日から運行開始するとしています。2019年8月末からは検査飛行が始まり、区民の不安、反対の声はさらに大きく広がっています。

清水議員は「区民合意が得られたと判断するまでは強行させないことが区長の役割」「運行開始の撤回を求めるべき」と区長の政治姿勢を質しました。

これに対し区は「羽田空港の機能強化の必要性については理解をする立場」「撤回を求める考えはない」とこれまで通り、計画に賛同する態度を変えませんでした。

国は2020年2月から、乗客を乗せた飛行機で「実機飛行」を始めるとしており、実質、計画の前倒しとなります。